



令和2年度 第3回まなびあいサロン

10月5日（月）に、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を十分に行い、第3回まなびあいサロンを開催いたしました。みみちゃん教室や幼稚部の保護者の皆様、14名が参加しました。

テーマ：『ことばをひろげよう』
講師：小学部主事 教諭 五十嵐早苗



ことばを豊かにするには・・・

子どもの心の動きに沿ったやりとりが必要！！

大切にしたい力① 「知りたい!」「伝えたい!」という心の動き



表情、視線、指差し、行動、声など、子どもの自発的な表現を大切に、子どもが、今、一番必要としていることばを選んで、気持ちの共有をしましょう。

やりとりにかけた時間だけ子どもの表現がひろがり、やりとりの良さを体得することができます。

大切にしたい力② イメージする力とことばのリアリティー



五感を使った体験を通して、頭の中にたくさんのネットワークを作ってあげましょう。子どもの心の動きをことばに置き換えながら、生活力を育てていきましょう。

似たような状況で繰り返し意図的に使うことがポイントです。

絵日記で高めたい力とは？

- ★「誰かに伝えたい」という心の動きが大切です。見てわかるやりとりが、子どもの興味を引き出します。
- ★イメージを共有して絵やことばで表現したり、質問に答えたりする習慣をやりとりを通して育てます。イメージをことばに置き換えることが重要です。
- ★新しい言い方を好んで使うように仕向けることが、学力につながります。取り上げたことばを、絵と文字でメモして自分で確認できるようにすることが学習につながります。

ことばをひろげる読み聞かせとは？

- ★子どもの心の動きを引き出すきっかけとなる活動です。
- ★読み手とのやりとりを楽しむことも大切な要素です。絵や声、口元が注目しやすい位置関係に配慮しましょう。
- ★あらすじだけでなく情景もやりとりするとことばはひろがります。
- ★擬音語や擬態語に触れるチャンスがあります。楽しいフレーズは構文の理解につながります。
- ★表情・感情を豊かに読むことで、イメージする力を育てます。

～参加者の感想～

☆絵日記でのやりとりで得るものが多く、我が子も名詞から助詞、敬語と段々ことば数が増えてきました。言い間違えもまだまだありますが、人とのやりとりで少しずつ直ってきています。人とのやりとりでことばをひろげることは大事なんだなと思いました。